資料７

１　がんの予防・早期発見

（２）肝炎肝がん対策の推進　計画Ｐ66-68

≪第４期大阪府がん対策推進計画における個別目標≫

	個別目標	計画策定時の値 【令和３（2021）年度】	現状値 【令和５（2023）年度】	2029年度目標値
1	肝炎ウイルス検査累積受検者数 【大阪府調べ】	約88万人	約98万人	約140万人
2	肝炎ウイルス検査精密検査受診率 【大阪府調べ】	54.3%	64.2%	80%

現状・課題	◆肝炎肝がん予防のためには、肝炎ウイルス検査のさらなる受検促進や陽性者への精密検査の受診勧奨、肝疾患診療連携拠点病院を中心とする医療提供体制の充実が必要。

本年度の取組

《肝炎肝がんの予防、受診・受療の推進》

■肝炎ウイルス検査の陽性者に対しフォローアップを実施し、精密検査受診状況を把握するとともに精検未受診者に受診勧奨を実施。【R6年度陽性者：16人（R6.12末時点）】
■初回精密検査費用助成制度の周知強化（泌尿器科）。【R6年度：24件（R6.12末時点）】
■定期検査費用助成制度の周知強化。【R6年度：47件（R6.12末時点）】
■肝がん・重度肝硬変治療促進事業にかかる指定医療機関の拡大。【102機関（R6.12末時点）】
■肝がん・重度肝硬変治療促進事業の実施。【累計：215人（R6.12末時点）】

《肝炎ウイルス検査の受検促進》

■市町村に対して受検者数向上にかかる情報提供等を行い、各市町村における受検者数向上に向けた取り組みを支援・促進。
■肝臓週間（R6.7.22～7.28）に合わせた肝炎ウイルス感染の高リスク集団への働きかけ
（肝疾患診療連携拠点病院や健康サポート薬局、企業等と連携した啓発、SNSやデジタルサイネージ等の各種メディアを通じた受検勧奨）。

《肝炎肝がんに関する普及啓発の推進》

■肝炎医療コーディネーターの養成。
【R6年度：819人、累計5,041人（暫定値：R6.12末時点）】
■肝炎医療コーディネーターの活動促進（研修で活動紹介、啓発資材の提供、メーリングリストで情報提供）。
■各関係機関にポスターや案内チラシ、ティッシュ等の配付を行い肝炎医療費助成制度の周知を強化。

＜肝臓週間に合わせて活用した啓発媒体＞

▼肝炎ウイルス検査チラシ

▼啓発ポスター

▼ポケットティッシュ

（表面）

（裏面）

▼大阪城天守閣ライトアップ

▼デジタルサイネージ放映用啓発動画・静止画

課題等	■肝炎医療コーディネーターの活動促進（養成対象の拡大、研修内容の充実等）。 ■市町村及び職域、福祉分野との連携強化。 ■肝炎、肝がん患者の重症化予防の推進。
次年度の主な取組み	■肝炎医療コーディネーター等と連携した受検勧奨・制度周知・正しい知識の普及啓発（福祉施設への働きかけ等）。 ■陽性者のフォローアップの充実を市町村に働きかけ精密検査受診率の向上に取り組む。 ■肝がん・重度肝硬変治療促進事業の活用数増（同事業指定病院等との連携強化）。 ■重症化予防推進事業の推進（初回精密検査費用及び定期検査費用助成事業の活用数増）。
最終予算（案）（主要事業）	肝炎ウイルス検査事業（48,133千円）、肝炎肝がん総合対策事業（20,252千円）、 肝炎医療費等援助事業（473,288千円）